

2. 火山の概況

(平成 16年 3月 18日 ~ 平成 16年 3月 24日)

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。
火山活動度レベル
レベルは2。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では浅部の熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

霧島山では噴気活動が継続した。

桜島では噴煙活動がやや活発であった。レベルは2。

薩摩硫黄島では噴火が発生した。

口永良部島では微動が発生した。

諏訪之瀬島では噴火が発生した。

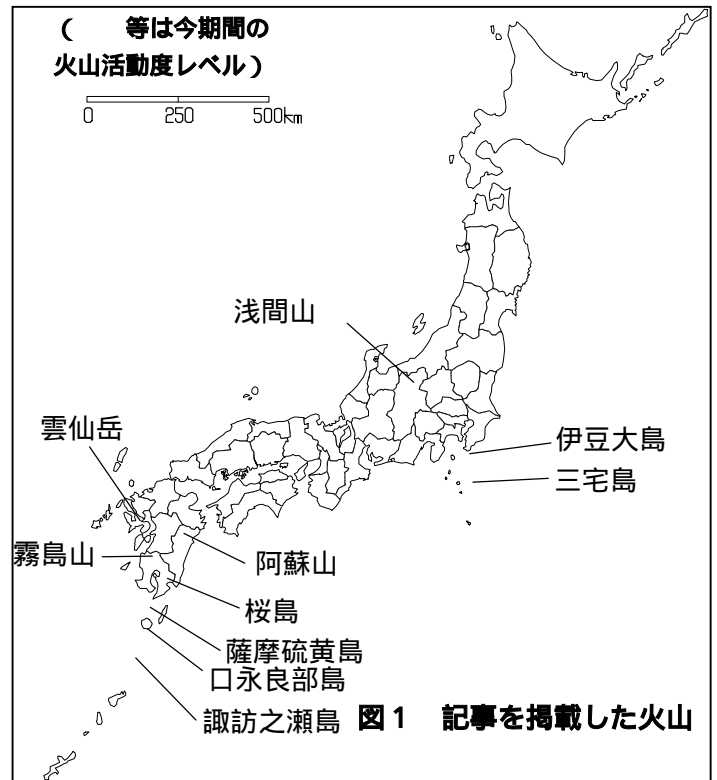


表1 最近1か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		十勝岳	吾妻山	三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島	
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号									
13	3/18- 3/24																			
12	3/11- 3/17																			
11	3/ 4- 3/10																			
10	2/26- 3/ 3																			
9	2/19- 2/25																			

注1 記号の意味
 ○：噴火した火山
 △：観測データ等に变化があった火山
 ◇：前期間まで や で掲載した火山の、その後の状況等
 □：その他記事を掲載した火山
等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

浅間山 [地震・微動・熱] レベル2 (やや活発な火山活動)

昨年6月末頃からやや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、今期間は1日あたり11~35回観測され、増減はあるものの、次第に減少している。

振幅の小さい微動は22日に1回観測された(前期間も1回)。

群馬県林務部が火口縁に設置している赤外線カメラにより、火口底に引き続き高温部が確認されたが、その範囲は次第に狭くなっている。

伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

三宅島 [地震・微動・噴煙・火山ガス]

地震活動は今期間も活発で、5日以降多い状態となった振幅の小さいやや低周波地震の回数は、今期間1日あたり28~54回(前期間18~292回)と減少したものの、やや多い状態であった。また、前期間に引き続き連続微動の振幅が10数分間程度間欠的に増大する現象が見られたが、これに対応して、噴煙活動等、他の観測データに変化は見られなかった。

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上 400mまで上がった。

23 日に行った火山ガスの観測¹⁾では、二酸化硫黄の放出量が日量 9,300～10,400 トンと、長期的には低下傾向がみられるものの依然多い状態であった(図 2)。

GPSによる地殻変動観測では、昨年 6 月頃から再び三宅島の収縮傾向を示している。

1)海上保安庁の協力による

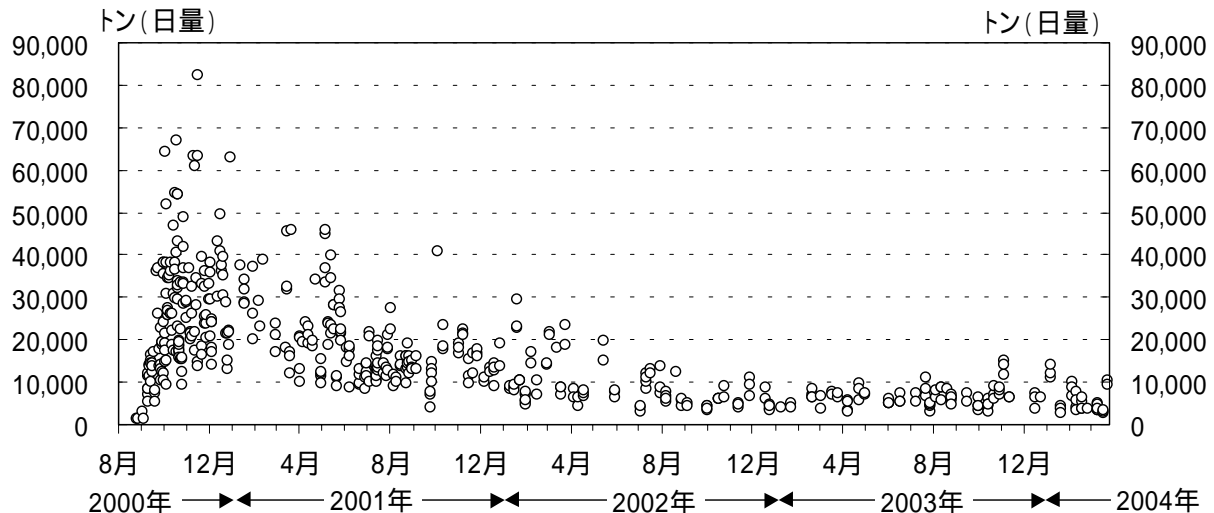


図 2 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移(2000年8月26日～2004年3月23日)

阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル2(やや活発な火山活動)

中岳第一火口の浅部の熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

19、24日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、湯量は約3割(前期間も約3割)で、湯だまりの表面温度の最高は24日の76(前期間は79)、また火口壁の最高温度は19日の328(前期間393)と依然高温状態にあった。湯だまり中央部で高さ約5mの、南西側で高さ2～3mの小規模な土砂噴出が観測され、また、前期間より確認されている湯だまりの南西側の噴気孔は、引き続き勢いよく噴気を噴出していた。

期間中、時折連続微動を観測した。23日19時06分以降は25日現在継続中である。また、孤立型微動は、1日あたりの回数が100回を下回る日も時折みられたが、今期間716回(前期間は671回)と依然継続しており、中岳第一火口の浅部の火山活動はやや活発であった。

地震の発生は少なく、噴煙活動や地殻変動には特段の変化はなかった。

雲仙岳 レベル1(静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

霧島山 [噴気]

遠望カメラによる観測では、19、20、24日に、白色の噴気が御鉢火口上100～200mの高さに上がっているのを観測した。

桜島 [噴煙] レベル2(比較的静穏な噴火活動)

19、20日に、桜島で噴火として計数している規模の噴煙活動には至らないものの、火山灰を含む有色噴煙が上がった。今期間の噴煙の最高高度は火口縁上700m(灰白色)であった。

鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)では、今年に入ってから降灰は観測されていない。

薩摩硫黄島 [噴火・降灰・噴煙・微動]

遠望カメラによる観測では、24日に火山灰を含んだ灰白色の噴煙が火口縁上600mまで上がっているのを確認した。三島村役場硫黄島出張所によると、19日、22日夜から23日朝にかけておよび24日に集落で降灰があった。

期間を通じて連続微動を観測し、22日04時以降はやや振幅の大きい状態が継続した。

口永良部島 [微動・地震]

21日に、規模の小さな火山性微動を観測した（前期間なし）。

2月2日に多発して以降増減を繰り返している地震回数は、今期間は短時間に集中して発生することではなく、期間中の合計は14回と前期間（92回）に比べ減少した。

諏訪之瀬島 [噴火・降灰・噴煙]

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、23～24日にかけて火山灰を含んだ噴煙が上がり、24日には集落（御岳の南南西約4km）で少量の降灰があった。

（期間外）25日03時25分頃に、爆発を観測した。この時の噴煙の状況は、夜間のため確認できなかった。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第152号 (1日2回発表)	18日09:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	火山観測情報第165号	24日16:30	
阿蘇山	火山観測情報第20号	19日11:10	火山活動が引き続きやや活発。レベルは2。
霧島山	火山観測情報第15号	19日15:00	御鉢の火山活動は収まっているが、火口内や南側火口縁では引き続き注意が必要。
薩摩硫黄島	火山観測情報第1号	22日10:40	22日以降連続微動の振幅がやや大きい状態。
口永良部島	火山観測情報第17号	19日15:00	地震の発生状況は消長を繰り返している。